

葉山町議会の報告

令和3年第3回定例会が、9月9日から10月14日まで開かれました。9月15日に行った令和2年度決算に対する総括質問と、10月13日に行った一般質問の報告をします。

新しい福祉課題への対応が難しい町行政

《休耕農地や森林等の活用によるまちづくり》

近年の地球温暖化・気象災害の頻発・激甚化と世界の食糧需給の逼迫、日本経済の様々な分野での国際競争力の低下のなかで、食料自給率を上げることは、国をあげて取り組むべきわが国の最大課題のひとつと私は考えています。

葉山の農地は区画が小さいなど農業用地としての活用が難しいですが、葉山の山側の貴重な財産として、荒廃から守り活用していくことが大事です。

農業を含めて葉山の産業を活性化させ、地域で回る経済を強化することの必要については同感であるとの答弁が町長からありました。

《空家対策》

今後増加が懸念される空家は、災害や景観の面でも大事な問題です。

葉山の場合、流通する物件が少なく、また取引も不動産屋さんのWebを通して行われているようですが、コロナ禍でリモートワークが広がっている中、売り手と買い手のマッチングが大事です。町としても、空家バンクの創設を計画しているということです。

《生活困窮者の一次相談窓口》

これまで何度も質問している問題です。生活困窮者自立支援制度の葉山町民の相談窓口になっている、神奈川県社会福祉協議会の「ほっとステーション」で受けた町民からの相談件数は、問い合わせも含めて令和2年度は171件だったそうです。また、昨年9月から始められた葉山町社会福祉協議会のコロナ禍生活食材応援プロジェクトによるお届け世帯数は43世帯、お届け回数は347回ということです。葉山にも、困っている人がいます。

町長からは、今回も相談窓口を設置するという答弁は得られませんでした。町民の方に気軽に相談に来ていただけるよう検討したいという回答でしたが

どうやって実現するのでしょうか。

《民生委員制度》

民生委員さんは民生委員法にもとづいて活動されていますが、この法律には地域の概念が全くありません。地域福祉の重要性が叫ばれるなか、時代遅れの法律となっています。

自治会町内会など地域の人たちと一体になって活動できるよう、葉山独自の工夫をしたらどうかと質問しました。改めて、法律の改正の議論が必要だと感じました。

《ふるさと納税》

ふるさと納税は、この制度を創設しようとした当時の菅総務大臣に対して、住民税の基本的なありようを破壊することになりかねない等と反対して※税務局長が左遷されたり、返礼品がらみで訴訟問題が起きたりと話題の多い制度です。※前川喜平著「権力は腐敗する」より

平成29年度から令和2年度までの累計で、葉山町ではこの制度による収入が1億6千8百万円、税の減少分が2億9千万円と、1億2千万円ほどのマイナスになっていることが明らかになりました。町民の皆さんはご存知でしょうか。🍀



Kazuo's Hyotan Column

“日本の国難を招いた「官邸主導」による大暴走 地に堕ちた倫理観”
 “権威を疑え 自分の頭で考えろ さもなくば民主主義は終わる”
 “現役官僚らの肉声で綴る圧巻ノンフィクション 萎縮と忖度の果てに”
 “なぜ生きることにこんなに不安を覚えるのか 腐敗国家の正体”
 “物言わぬ官僚の忖度はいつ始まったか？ 官僚の本義を再考する”

これらは、今年になってから相次いで発行された書籍の帯文の抜粋です。上から順にその書籍を紹介すると『官邸の暴走』古賀茂明著（角川出版）、『権力は腐敗する』前川喜平著（毎日新聞出版）、『自壊する官邸』朝日新聞取材班著（朝日新書）、『人を救えない国』金子勝著（朝日新書）、『官僚崩壊 どう立て直すのか』寺脇研・前川喜平（扶桑社）です。

上の2つと5番目の書籍の著者は、多くの方がご存知のかつて国の要職で活躍された元官僚で、4番目の書籍の著者は、私が注目してきた経済学者（立教大学教授）です。

どの著書にも、マスコミで大きく報道された国政の内側の様子が、実名入りで詳細に生々しく書かれています。テレビや新聞の報道とはひと味もふた味も違う世界がそこにはあります。日本の現状と進む方向を心配している皆さんに、ぜひ一読して欲しい本です。

横浜市で地方公務員として働いてきた経験から、国家公務員の置かれた状況や気持ちを推測し

てしまいます。例えば、森友・加計学園・桜を見る会の問題で国会答弁をしている官僚の姿を見ながら、その裏で深夜まで不本意な答弁資料づくりで疲弊する部下の皆さんの姿を思い浮かべます。

もう一つ、忖度。忖度は、官僚に自分の意見を言わなくさせるばかりか、組織全体の思考停止に繋がりがねません。官僚組織の蓄積した知識経験と政治家の判断力・決断力がコラボしてこそ政治は適切な判断をすることができます。

「『早期辞職』7人に1人」、「霞ヶ関を避ける東大生」。これは新聞記事の見出しです。志が高く意欲的な人にとって、官僚が魅力のない職業になっている証左です。

人は誤り、失敗します。誤りや失敗を少しでも防ぐには、様々な知恵を集め議論が闘わされる状況をつくることです。新たに誕生した岸田政権が、安倍菅政権への国民の疑問に向き合い、一強政治を改められるか見守りたいと思います。



第49回衆議院議員選挙を振り返って

立憲民主党が議席を減らし、日本維新の会が躍進しました。自民党には不満だが、共産党と共闘を組んだ立憲民主党への投票を躊躇した国民が、日本維新の会を選んだのでしょうか。

11月8日付けの神奈川新聞の記事『衆院選躍進の維新』によれば、英紙ガーディアンは「右翼ポピュリストたちが大阪で圧勝」との見出し、米ブルームバーグ通信は「右翼政党の躍進に驚き」、ロイター通信は「ダークホースの右翼政党が衆院で第3党に」、と海外メディアは報道していたということです。今後の動きを見守りたいと思います。🍈



中村かずお プロフィール

葉山町議会議員 1942年生まれ 横浜国大経卒
 元 横浜市理事・横浜市福祉サービス協会専務理事 元 葉山町町内会連合会長
 元 葉桜自治会長 現 社会福祉法人であいの会理事長・葉桜自治会会計担当

連絡先：〒240-0113 葉山町長柄1617-12 TEL/FAX 046-875-6925
 Email : 170202kn@ozzio.jp URL : https://www.nakamurakazuo.com/

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

